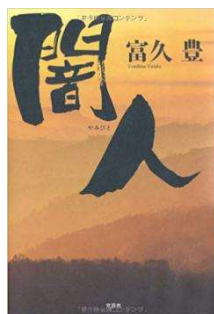


岡山歴研サロン・令和 8 年 2 月 7 日

『飛鳥に遺る吉備の跡』

富久 豊 講演会



大化の改新前後から平安時代初期までの古代史著書 2 冊。

『滅びの音』 2007 年 新風舎

八世紀末。大倭王権の“欲”の渦の中で翻弄され、国賊として滅ぼされた小国「阿羅伽耶国」の悲劇、古代東北歴史ロマン。

『闇人』 2010 年 文芸社

蘇我氏を失脚させ、大化の改新を成し遂げた中大兄皇子（天智天皇）と中臣鎌子（藤原鎌足）の生涯を、陰で支えた山師集

団の暗躍を絡ませながら、新たな視点で描いた歴史大河小説。

講演趣旨：

飛鳥にある吉備の遺跡は、吉備池廃寺跡、吉備姫王墓（猿石）、酒船石遺跡が知られています。

吉備池廃寺跡：奈良県桜井市吉備に位置する古代寺院跡、国の史跡指定。

吉備姫王墓（猿石）：欽明天皇陵（梅山古墳）に隣接する吉備姫王の墓とされる場所で、猿石と呼ばれる石像が 4 体あります。

酒船石遺跡：伝飛鳥板蓋宮跡の北東の丘陵地帯にあり、酒船石と呼ばれる石造物や、亀形石造物、小判形石造物などが発見されています。

古代史作家としての視点に注目願います。

日時 令和 8 年 2 月 7 日（土） 13:30～16:00

場所 ゆうあいセンター 岡山市北区南方 2-13-1 きらめきプラザ 2 階

申込 板野忠司 0515itano@gmail.com・Tel 090-7134-2709

資料代 500 円

皆様のご参加 心よりお待ちしております。

岡山県生涯学習大学連携講座